

男女共同参画

ジェンダー平等 具体策は パートナーシップ制度実施



みやじま ようこ 議員

問 第二次男女共同参画計画が完成したが、具体的にはどんなことを実施していくか。

答 青木地域住民課長 町でパートナーシップ制度を導入する。今、令和4年度4月からスタートするために準備をしている。

また、町民大学でもジェンダー平等についての講演を計画している。

問 コロナ禍の中で、経済的理由で生理用品の入手が困難な女性が増えている。「生理の貧困」の改善は「ジェンダー平等」の具体化の一つである。町の公共施設のトイレに、トイレットペーパーのように生理用品を配備し、無償配布を求めるが、どうか。

答 土居総務課長 住民の実態や施設での状況に応じて配備を検討したい。

問 「学生の5人に1人が生理用品入手に苦労」との調査結果がNHKで放送された。町でも学校のトイレに生理用品を常設すれば、目立たず安心して使用できる。保健室で貸してくれる

生理用品は、無償でいつでも支給出来るように、学校現場に通知して欲しい。

答 畦地教育長

学校のトイレに生理用品を常設することの結論は出てないが、教育的な配慮として最適かどうか、学校現場の考えを聞きながら対処していきたい。保健室での無償配布は現場に徹底させていく。



大方中学校保健室

施設管理

体育館トイレの改修を 伊田は早急に修理



旧伊田小学校体育館

問 旧伊田小学校の体育館のトイレは、使用禁止が1基。もう1基は水を出す押しボタンがきつくて高齢者には難しい。洋式トイレに改修を求める。また、上川口小学校の体育館のトイレも汲み取り式だが、1基は簡易の腰掛用便器が乗せてあるが水は出ない。もう1基は穴が大きく子供には危険性がある。改修をする計画はないか。

答 藤本教育次長

旧伊田小学校の体育館のトイレは1基が故障中。もう1基は流水のボタンが固く、水が流れにくい状況なので、早急に修理したい。洋式トイレへの変更は予算もかかるので検討したい。

上川口小学校の体育館のトイレは、現時点での改善の計画はない。しかし長寿命化改修の機会を活用して、トイレの改修も含めて検討したい。